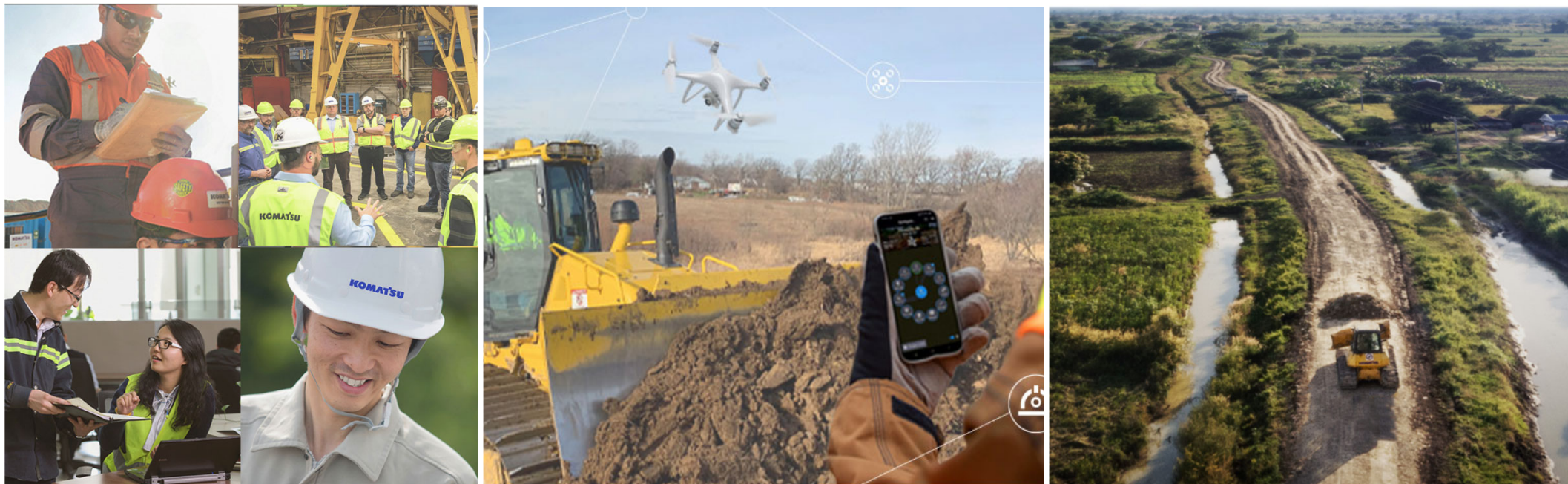


KOMATSU

【証券コード】6301

個人投資家向けWEBセミナー



成長戦略と業績および株主還元について

コマツ
代表取締役社長 兼 CEO 小川 啓之

おがわ ひろゆき

2024年8月20日（火）

1. コマツの概要
2. 中期経営計画
—成長戦略とESG課題解決—
3. 業績および株主還元について

1. コマツの概要

2. 中期経営計画

—成長戦略とESG課題解決—

3. 業績および株主還元について

コマツの歴史 ～創業者の精神～

- 1921年5月13日 株式会社小松製作所設立（1917年に前身の小松鉄工所設立）
- 創業者の志：「工業富國基」
（工業は国を富ませる基なり 人材育成こそが工業富國基の基本）

【コマツ創業の精神】

- ◆ 海外への雄飛
- ◆ 品質第一
- ◆ 技術革新
- ◆ 人材の育成

創業の精神は、遺伝子として
受け継がれている



創業者 竹内 明太郎
（高知県宿毛市出身）

存在意義

ものづくりと技術の革新で新たな価値を創り、
人、社会、地球が共に栄える未来を切り拓く

設立



1921年5月13日

社員数*



65,738人

連結子会社*



208社

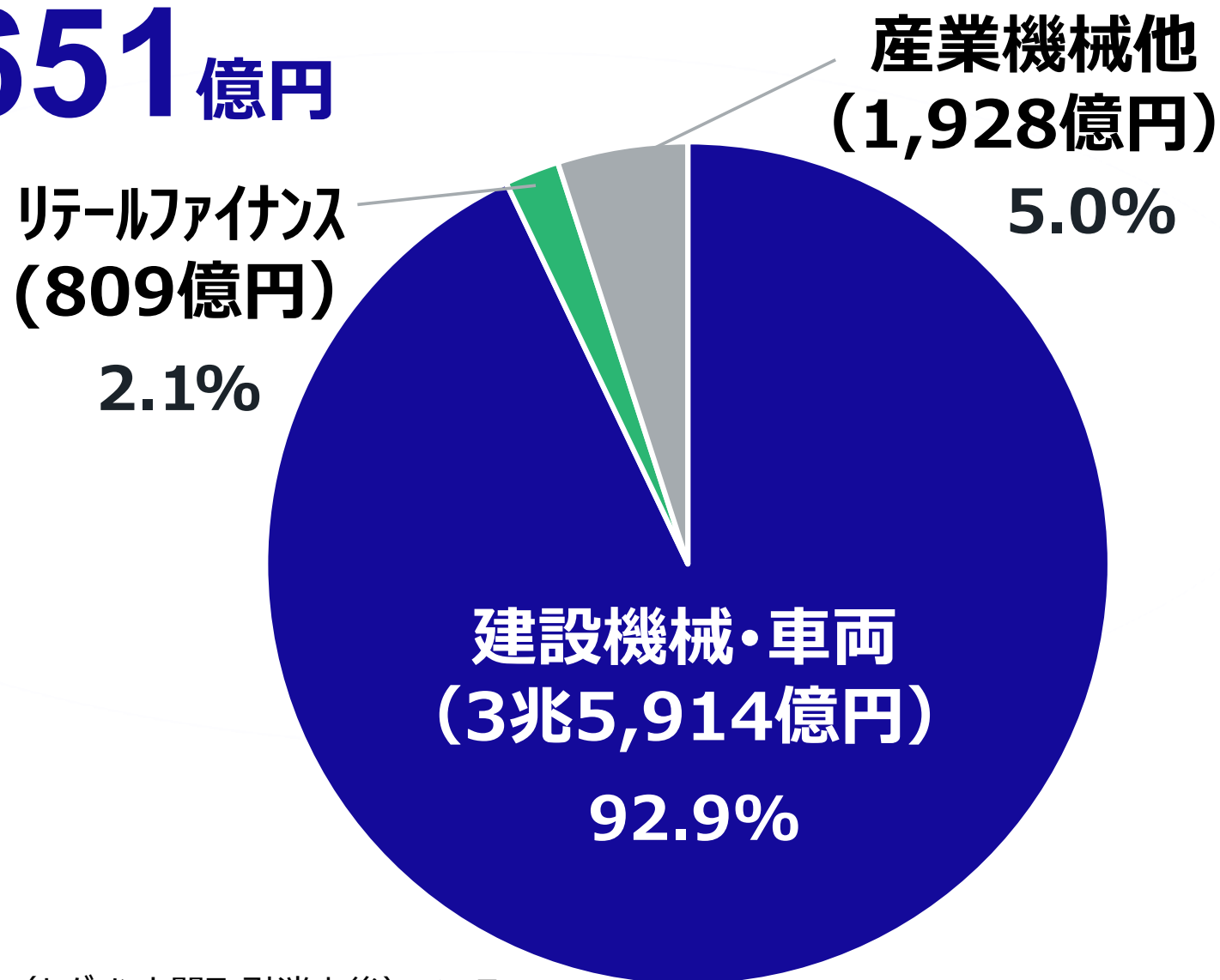
グローバル拠点数*



235拠点

連結売上高*

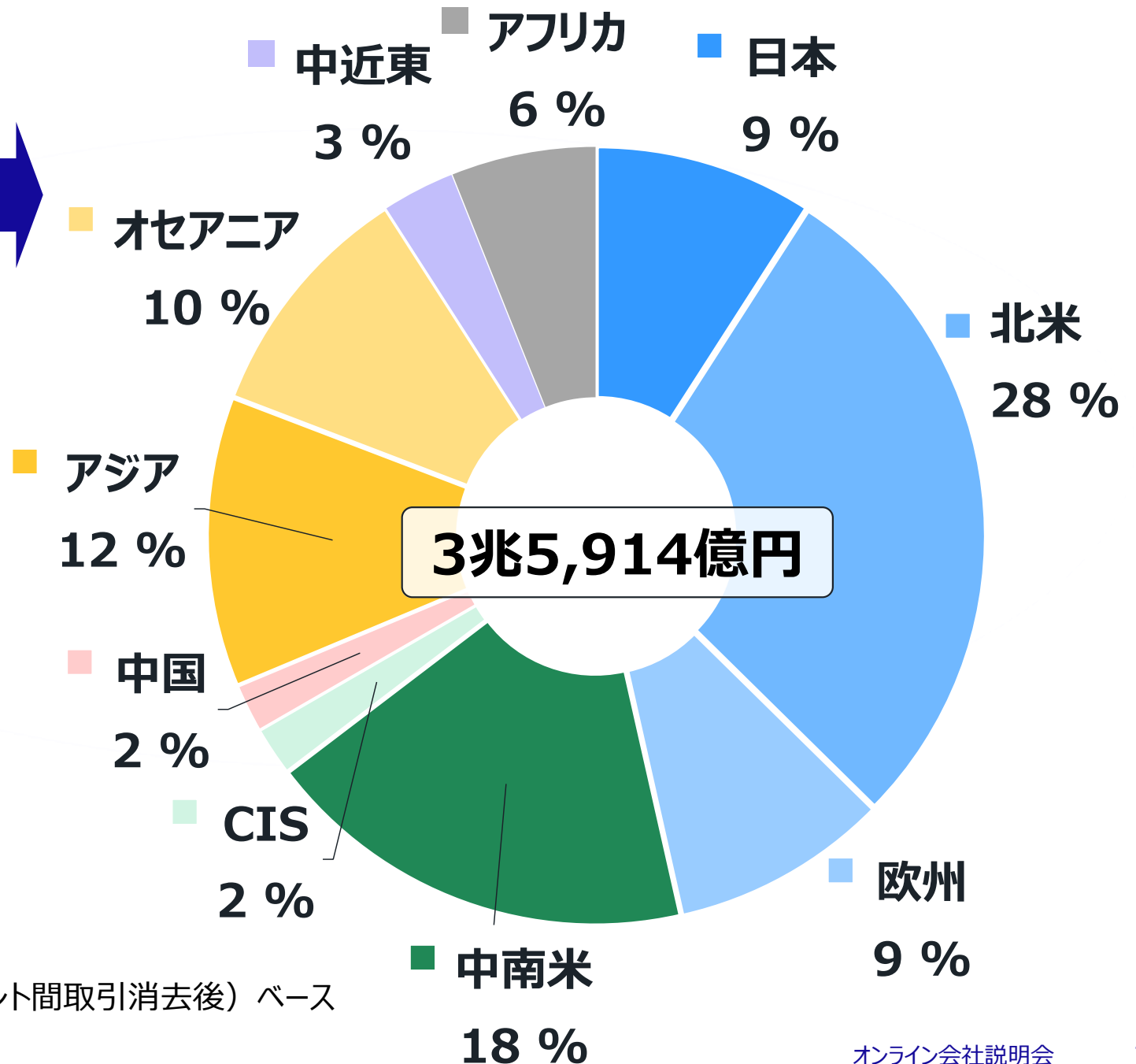
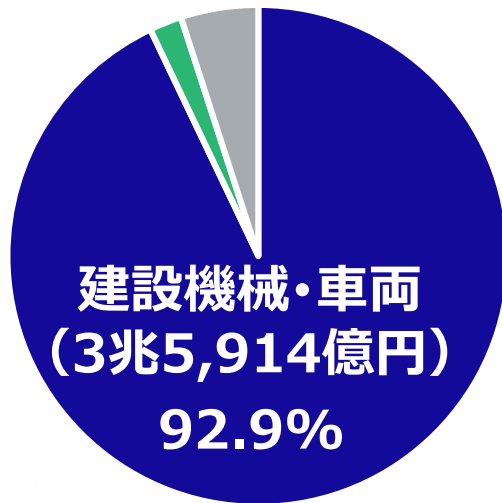
3兆8,651億円



*売上高は外部顧客向け（セグメント間取引消去後）ベース

建設機械・車両事業の地域別売上高構成（2024年3月期実績）

事業別売上高



*売上高は外部顧客向け（セグメント間取引消去後）ベース

主要商品

建設機械・車両

一般建機



油圧ショベル



ブルドーザー



ホイールローダー



モーターグレーダー

鉱山機械



ダンプトラック



超大型油圧ショベル



ロープショベル



ロードホールダンプ
(坑内掘り鉱山機械)

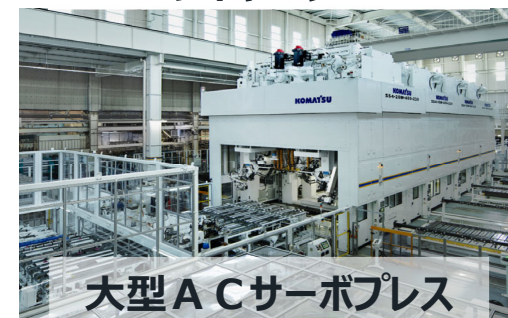
産業機械他



半導体露光装置用光源
(エキシマレーザー)



半導体シリコンウエハー用
ワイヤーソー



大型ACサーボプレス
(自動車ボディ成形用)

主要商品（鉱山機械：採掘工法別）

- 鉱山の採掘工法は、地表近くを採掘する「露天掘り」と地層深くを採掘する「坑内掘り」があり、採用する工法によって使用される鉱山機械が異なる
- 坑内掘りのハードロック分野を中心に、商品ラインナップの拡大に注力

露天掘り向け 主な製品



ダンプトラック



油圧ショベル



ロープショベル



©2017 Komatsu Mining Corp. All rights reserved.

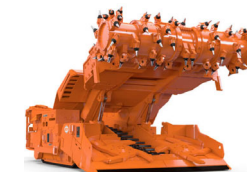
坑内掘り向け 主な製品



ロードホールダンプ



ドリルジャンボ



採掘機

グローバル開発・生産体制

【現地組立・生産の目的】

- 顧客からの信頼の獲得
- 現地ニーズの製品への織り込み
- 品質問題の早期解決
- リードタイムの短縮／コスト低減

【マザー工場制】

- 開発機能を持つ生産工場
- 同一機種を生産する海外工場の安全・品質・納期・コストに責任を持つ
- グローバルで同一品質を実現

建設機械・車両の主な生産拠点

◎・・・「マザー工場」



地域別の生産拠点数

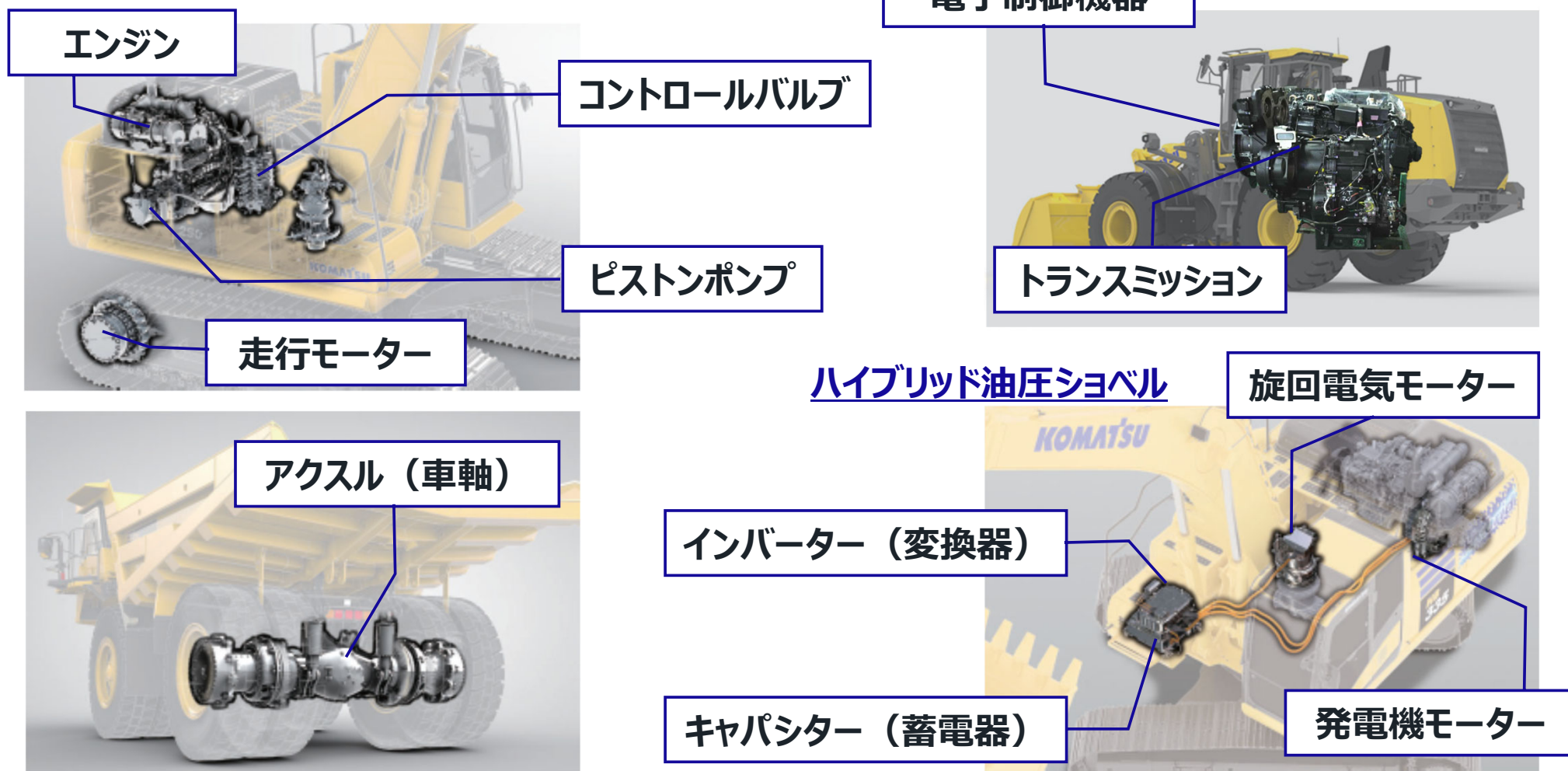
日本	米州	欧州 CIS	中国	アジア オセアニア	中近東 アフリカ	合計
12 (4)	19 (1)	14 (4)	4	8	1	58 (9)

コマツの強み ①キーコンポーネントの自社開発・自社生産

【自社開発・自社生産だからこそできること】

- ・ 継続的な技術革新
- ・ 全世界に同一品質のコンポーネントを安定的に供給
- ・ コンポーネントの再生ビジネス
- ・ 取り付けたセンサーからの情報を解析した予知保全

主なキーコンポーネント

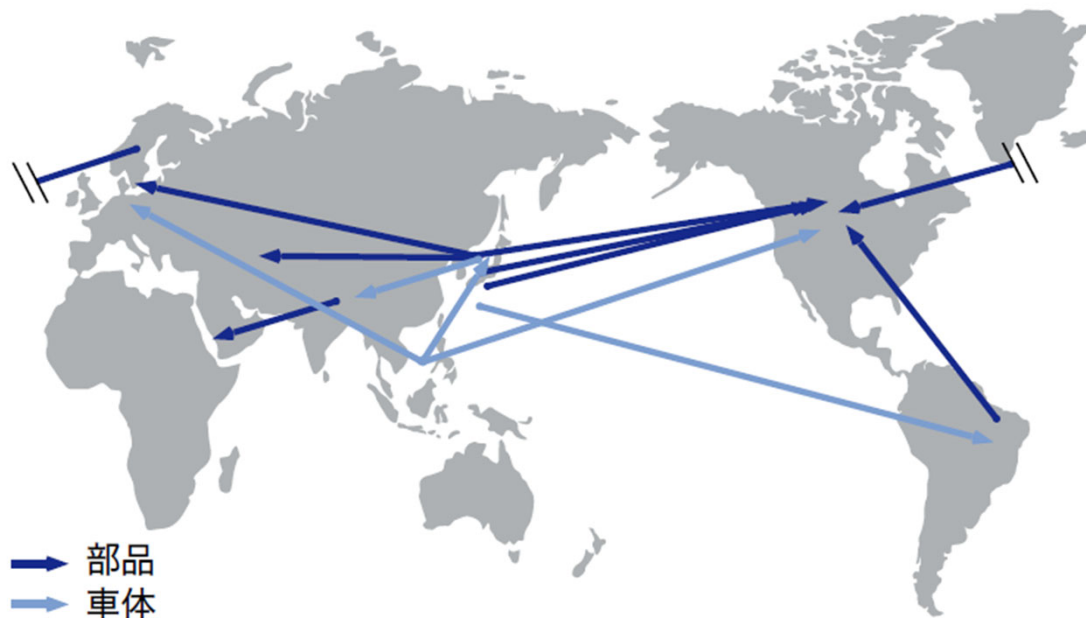


コマツの強み ②環境変化に強い生産・調達体制

- ・ 需要・為替の変動など、各工場の生産能力を有効活用し、最適な工場生産して輸出
- ・ パンデミック・自然災害・地政学的リスクなどの環境変動に強い生産調達体制の構築を推進

グローバルクロスソース体制

世界各地の生産拠点で同一品質の製品を生産する体制を整備



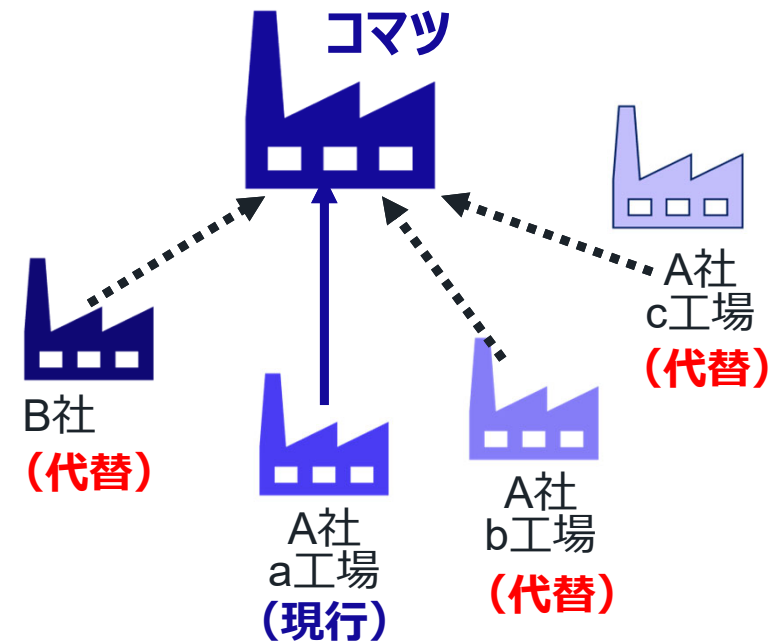
<必要条件>

- ①ベースマシンの統一
- ②生産管理システムの統一
- ③生産・設計BOM*の統一
- ④製造プロセス・品質基準の統一

*BOM: Bill of Material 部品構成表

調達マルチソース体制

複数メーカーからの部品購入、現地調達
の拡大



コマツの強み ③コマツウェイ

- コマツの全世界の社員が共有すべき価値観・心構え・行動様式を明文化（2006年～）
- 日々の改善活動や部門横断のプロジェクト活動、顧客との課題解決活動を通じ、浸透を図る

コマツの強さ

基本的な心構えと視点

強さを支える信念

行動様式（スタイル）



マネジメント／リーダーシップ編

－経営トップ・リーダーの心構え・行動指針－

“ものづくり編”

－“ものづくり”の競争力のために－

ブランドマネジメント編

－パートナーとして選ばれ続けるために－

“ものづくり” 7 Ways



1. 品質と信頼性の追求



2. 顧客重視



3. 源流管理



4. 現場主義



5. 方針展開



6. ビジネスパートナーとの連携

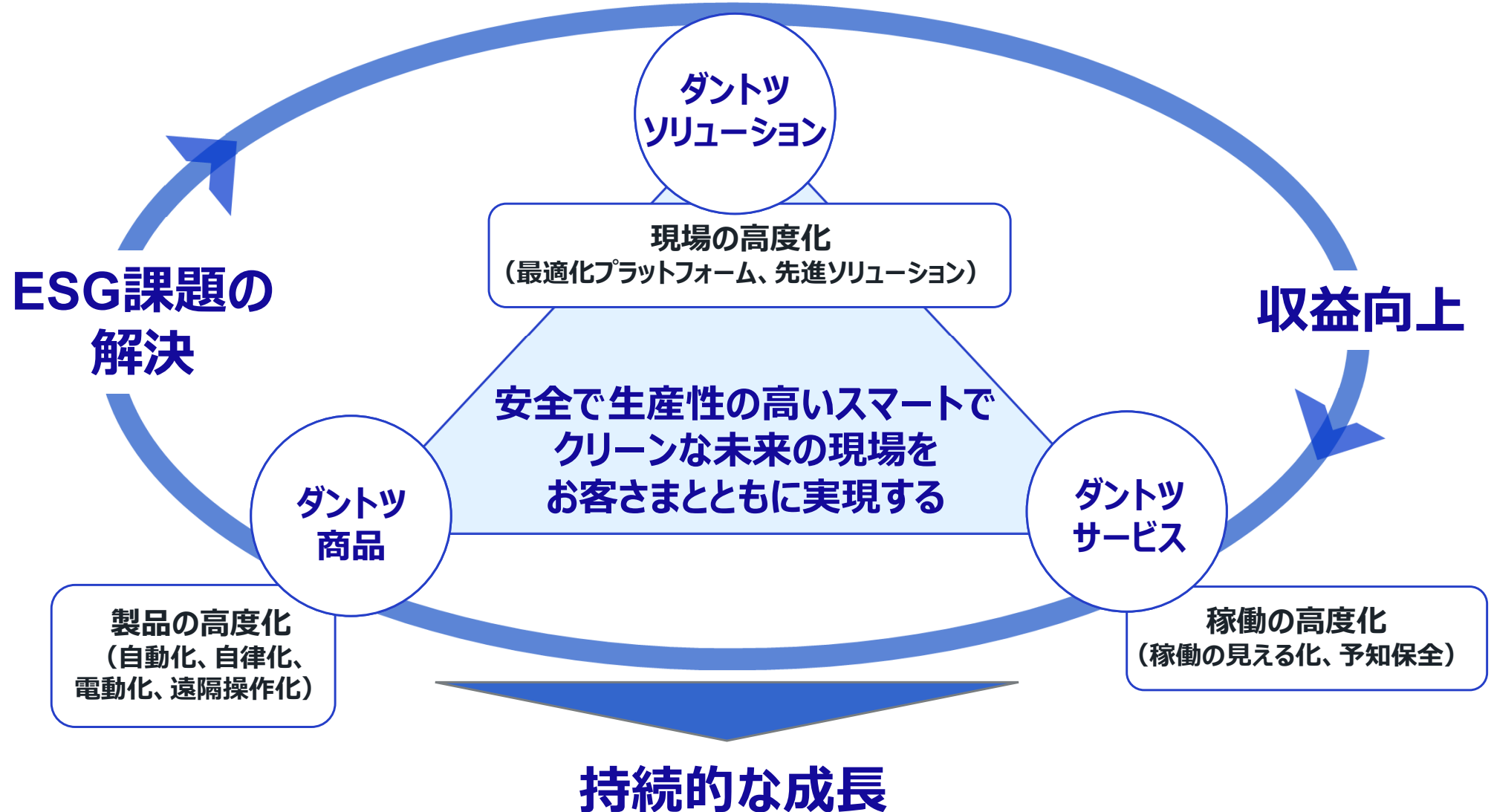


7. 人材育成・活力

1. コマツの概要と強み
2. **中期経営計画**
—成長戦略とESG課題解決—
3. 業績および株主還元について

DANTOTSU Value

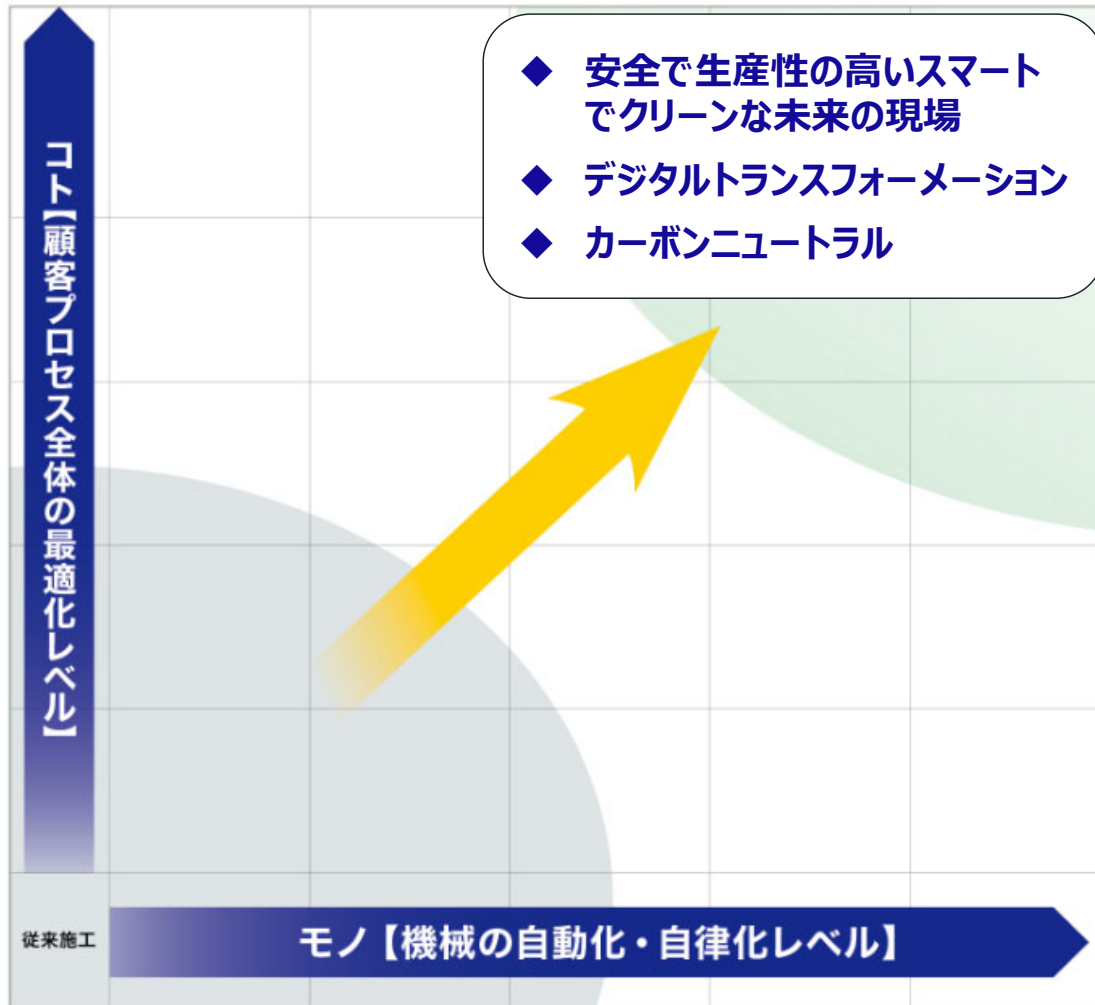
ESG課題解決と収益向上の
好循環を生み出す顧客価値創造



コマツの目指す、ありたい姿：未来の現場へのロードマップ

- 高度化した“モノ”と“コト”を組み合わせ、安全で生産性の高いスマートでクリーンな未来の現場をお客さまとともに実現する

未来の現場へのロードマップ



コト【顧客プロセス全体の最適化】



DXスマート
コンストラクション



鉱山用オープン
テクノロジープラットフォーム

モノ【機械の自動化・自律化】

建設機械向け
遠隔操作システム



モノ【機械の効率化/低排出カーボン化】



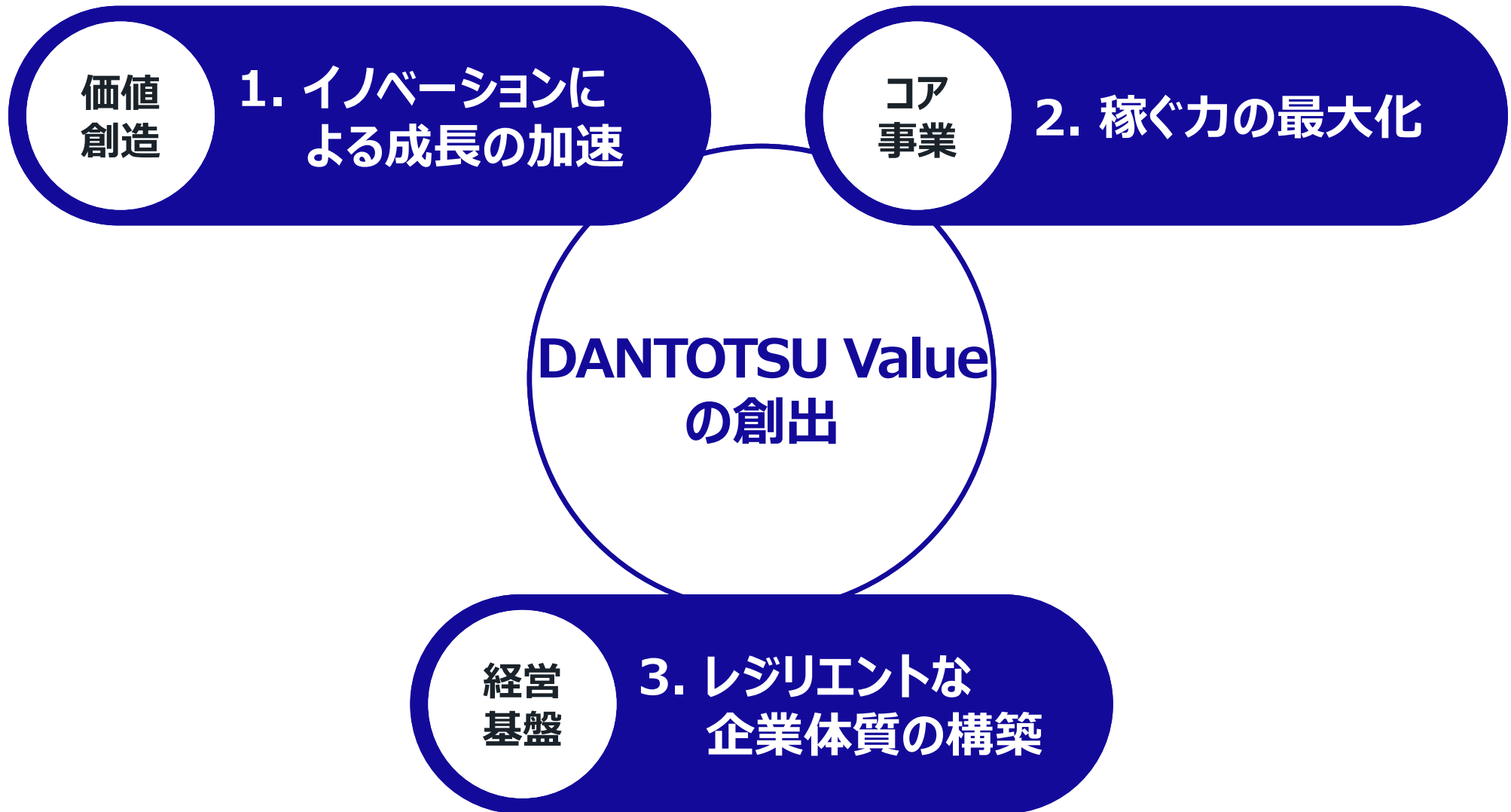
電動ミニショベル
「PC30E-6」



水素燃料電池搭載
中型油圧ショベル

DANTOTSU Value

Together, to “The Next” for sustainable growth



成長戦略3本柱 (1) イノベーションによる成長の加速

電動化建機の開発・導入



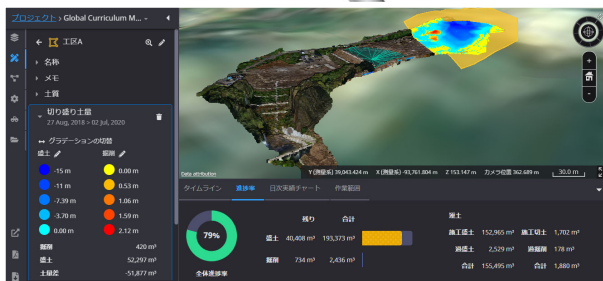
自動化に向けた 取り組み



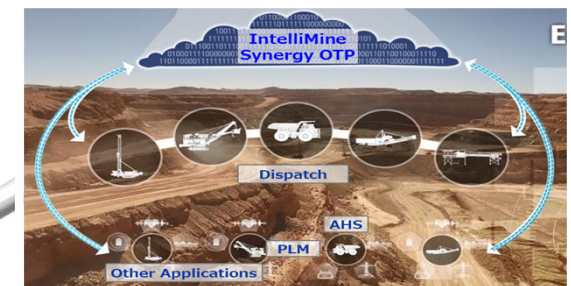
現場を最適化する
新たな顧客価値の創造

イノベーションによる 成長の加速

カーボンニュートラルに向けた
価値 (モノ・コト) づくりの挑戦



DXスマートコンストラクション の推進



鉱山用オープンテクノロジー プラットフォーム

DXスマートコンストラクションの促進

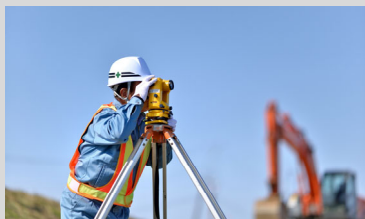
- 深刻化する建設現場の人手不足を背景に、現場の各工程をデジタル化したスマートコンストラクション®を開始 ⇒ 全工程をデジタルでつなぐ『DXスマートコンストラクション』に進化
- 本ビジネスモデルを北米、欧州、オーストラリア、東南アジアに展開

各プロセスのデジタル化＝『縦のデジタル化』

従来施工

起工測量

人手で測量



時間と工数をかけて現況地形を測量

設計施工計画

土量の算出



紙の設計図から施工土量を算出

施工

丁張を設置し見ながら施工



設計図に合わせて丁張を設置
丁張を見ながら施工と検測を繰り返して成型

検査納品

出来形管理 書類検査



完成した地形を人手で測量
大量の出来形管理書類による納品

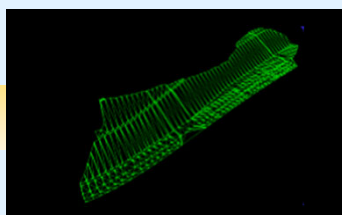
スマートコンストラクション

ドローンによる3D測量



広い現場でも短時間で3Dデジタル化

デジタル上で土量を算出



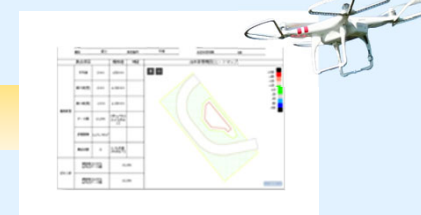
現況地形データと3D設計データから
デジタル上で施工土量を自動算出

ICT施工/施工進捗管理



丁張が不要になるICT建機で施工
施工履歴や施工進捗をデジタルで把握/管理

ドローン測量を活用した出来形検査



完成した地形をドローンで短時間で測量
出来形管理帳票を簡単に出力/納品

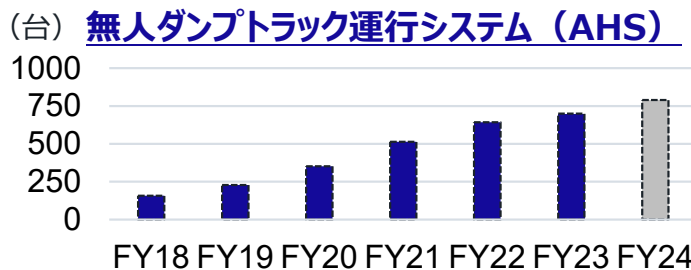
施工の全工程をデジタルでつなぐ『横のデジタル化』 = DXスマートコンストラクション

建設・鉱山機械の自動化ロードマップ

- 建設・鉱山機械の自動化開発を、自動アシストから自律化までの4ステップで進める



*建設・鉱山機械に特定作業の自動化機能を搭載すること



5カ国23現場
750台超
2024年6月末時点



自動走行 (AHS搭載)
協調作業

セミオート作業機制御

遠隔操作

遠隔操作+セミオート作業機制御



自動ブレード制御



遠隔操作+自動ブレード制御



セミオート掘削





- ・ バッテリーをはじめとした新しい動力源を搭載した建設・鉱山機械の開発に取り組む



カーボンニュートラルに向けた取り組み

- カーボンニュートラル実現に向けて、全方位で技術開発中

カーボンニュートラル燃料



工場充填燃料をディーゼル燃料から水素化植物油（HVO燃料*）に切り替え（欧州）

* Hydrotreated Vegetable Oil

バッテリー

米バッテリーメーカーを買収



低電圧用バッテリーパック（左）
高電圧用バッテリーパック（右）

水素混焼発電機

電動ミニショベルの給電用可搬式水素混焼発電機のコセプト機を開発



KOMATSU

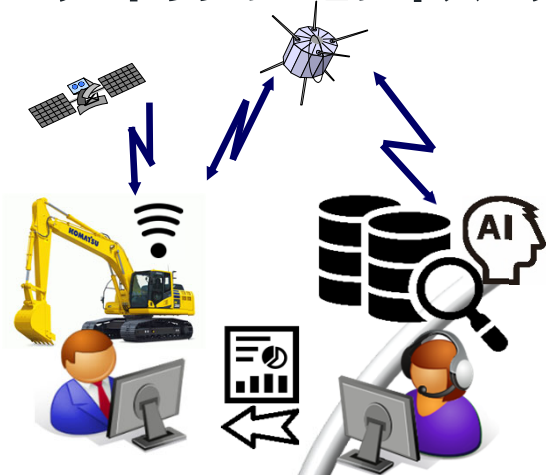
水素燃料電池

ゼネラルモーターズと超大型ダンプトラック向け水素燃料電池モジュールの共同開発契約を締結



成長戦略3本柱 (2) 稼ぐ力の最大化

データ・ドリブン・ビジネスモデルの構築



成長市場における
プレゼンス拡大

戦略地域の特性に応じた
商品戦略の推進
(都市土木仕様「CEシリーズ」)



稼ぐ力の最大化

バリューチェーンビジネスの
進化による更なる成長



林業機械事業の拡大
(植林用アタッチメントを
取り付けたブルドーザー)



坑内掘りハードロック事業の拡大
(鉱山機械「マイニングTBM」)

戦略市場における取り組み

- アジア地域をはじめとする戦略市場向けの取り組みの一つとして、お客さまのニーズに対応し「**2ラインモデル戦略**」を展開
- 20tクラスは都市土木作業に適した仕様の「CEシリーズ」を販売、シェア維持・増加に貢献
- 燃料価格の高騰に加え、気候変動への意識が高まりの中、30tクラスはハイブリッド油圧ショベルを販売

20トンクラス

- ハイエンドモデル
- CEシリーズ
(軽負荷作業モデル)

30トンクラス

- 標準機
- ハイブリッドモデル



油圧ショベル CEシリーズ

KOMATSU

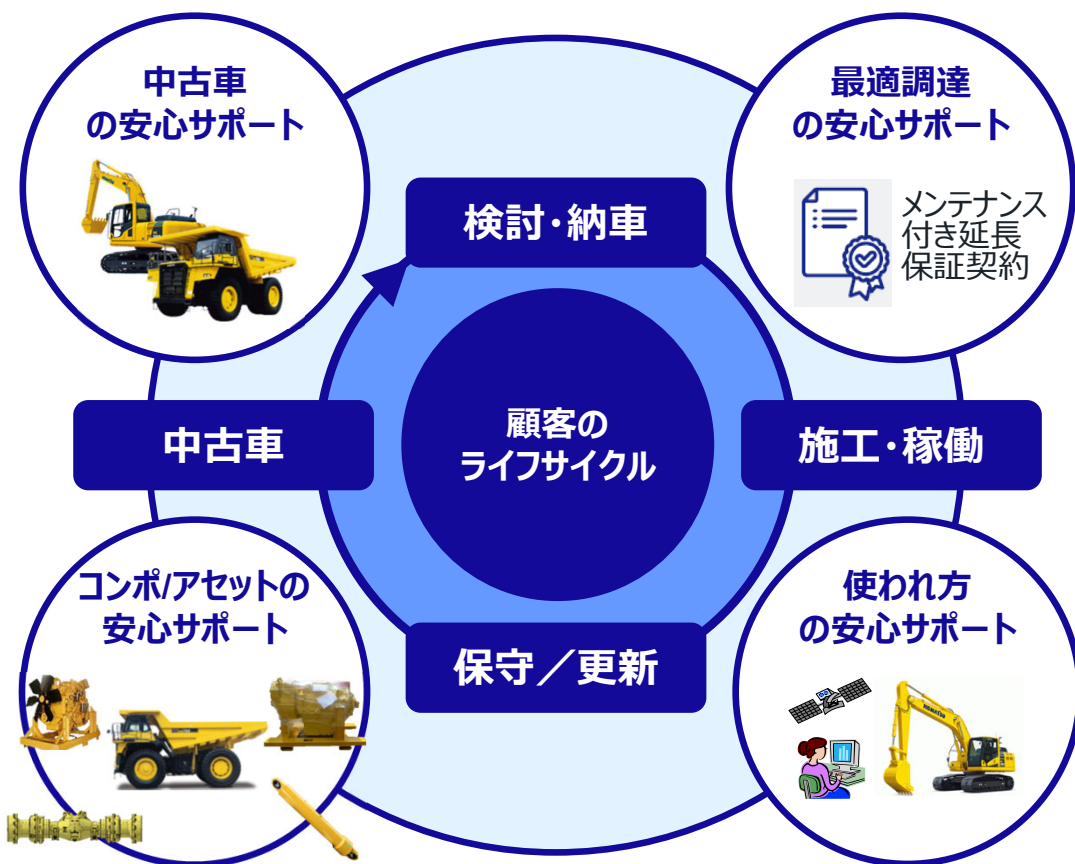


ハイブリッド油圧ショベル

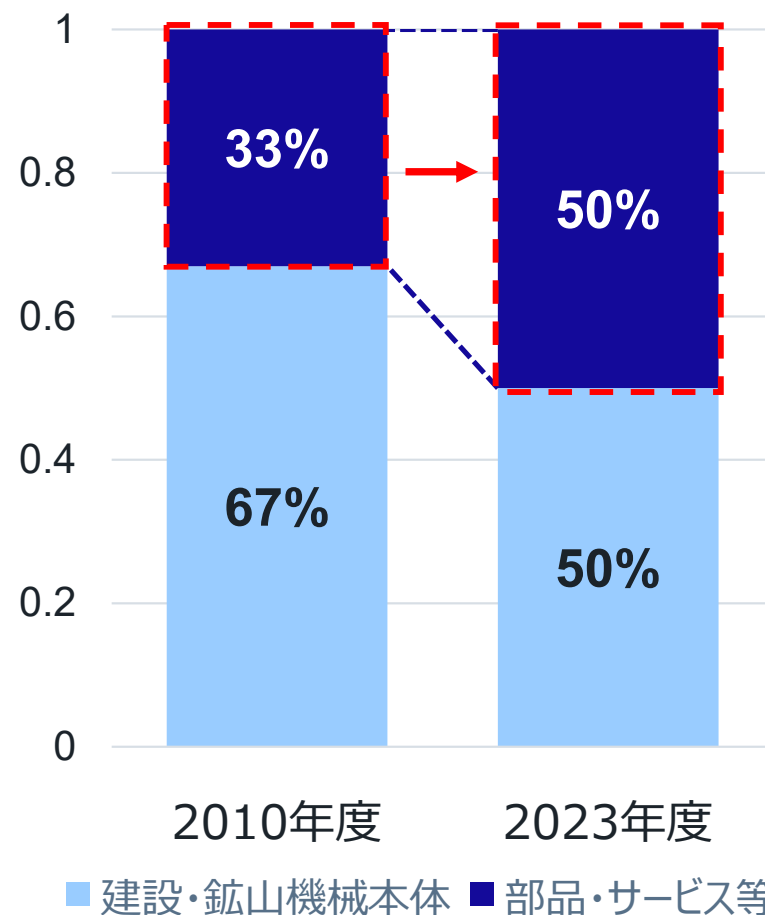
バリューチェーンビジネス

- ・ 新車購入から中古車売却までのライフサイクル全体を通じてサポートを継続
- ・ 販売後も安定的に収益をあげるビジネスモデルを更に強化

ライフサイクル安心サポート



建設機械・車両部門売上高構成比



生産のクロスソーシング強化



リスクマネジメント体制の強化



効率的な事業運営と
リスクマネージメントの強化

レジリエントな 企業体質の構築

多様性に富む人材基盤の充実化

Creating value together

グローバルなブランド戦略展開



社員エンゲージメントの向上

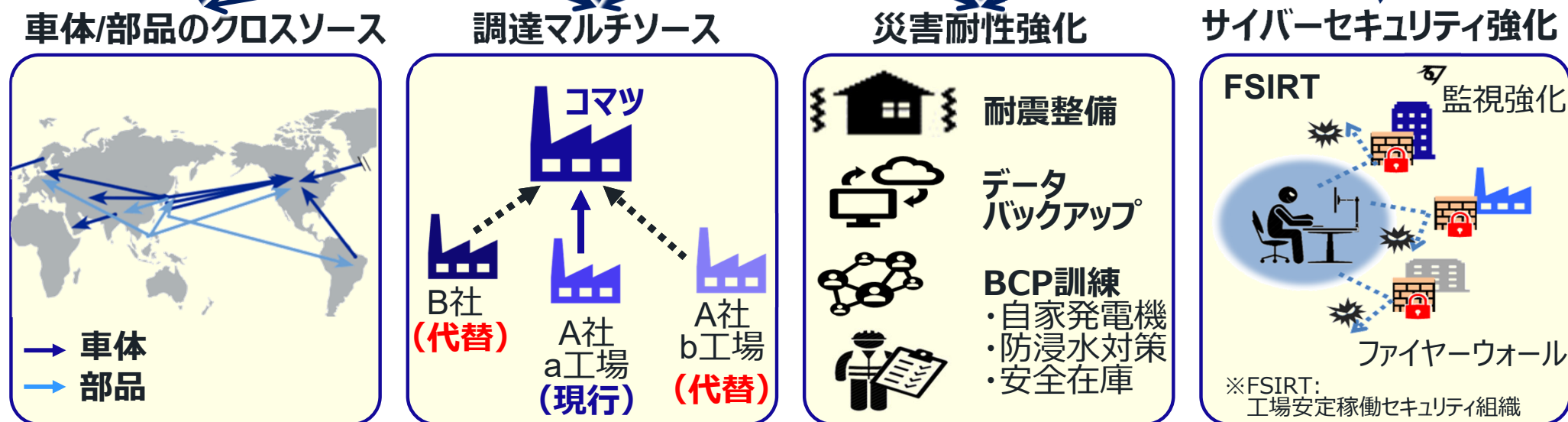
BCP対応

- BCP対応：諸リスク(自然災害、物流リスク、疫病等) に対応し、生産・調達のBCP体制を構築

リスク


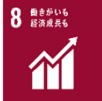














対策



サステナビリティ基本方針と中期経営計画のKPI

- サステナビリティ基本方針に基づき、事業活動を通じた社会貢献を目指している
- 中期経営計画の成長戦略を通じたESG課題解決を着実に遂行していくためにKPIを設定

	SDGsとの関係	中期経営計画のKPI* 24年度目標 例
人と共に マテリアリティ： 「社員」「人権」	 ジェンダー平等  働きがいと経済成長  不平等をなくす  パートナシップ	女性管理職比率（グループ連結） FY2022実績 10.3% → 目標 13%以上
社会と共に マテリアリティ： 「顧客」 「倫理・統治」 「地域社会」	 産業と技術革新  まちづくり  つくる・つかう責任  パートナシップ	スマートコンストラクション[®]導入現場数（世界計） FY2022実績 8,955 現場 → 目標（単年度） 13,000 現場 AHS累計導入台数 FY2022実績 643 台 → 目標 790 台
地球と共に マテリアリティ： 「環境」	 クリーンエネルギー  産業と技術革新  つくる・つかう責任  気候変動への対策  陸の豊かさ  パートナシップ	生産によるCO2排出削減率(2010年比) FY2022実績 △43% → 目標 △45% 製品使用のCO2排出削減率(2010年比) FY2022実績 △21% → 目標 △24%

*KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標）

F1チーム「ウィリアムズ・レーシング」とのスポンサー契約を締結

- コーポレートブランドの強化とモータースポーツ分野での新たな価値創造を目指し、FIA フォーミュラ・ワン世界選手権（F1）の代表的なチームの一つである英国「ウィリアムズ・レーシング」との複数年スポンサー契約を締結

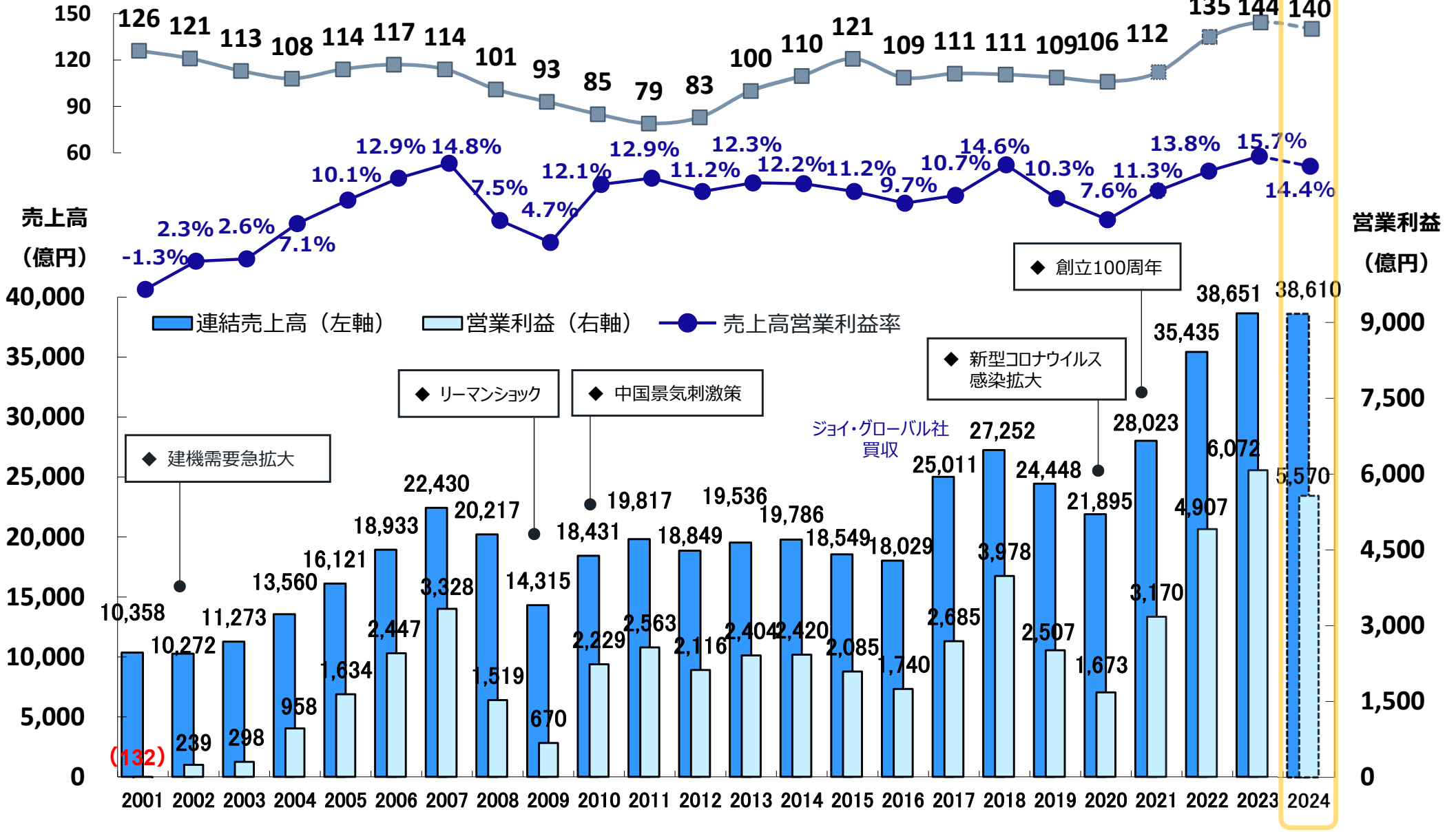


ウィリアムズ・レーシングの2024年型車体デザイン

1. コマツの概要と強み
2. 中期経営計画
—成長戦略とESG課題解決—
3. 業績および株主還元について

年間業績推移

為替レート (円/ドル)



海外生産拡大
多角化

選択と集中

ICTを活用したバリューチェーンの拡大

顧客価値創造

2024年度の業績見通し（概要）

- 売上高は前年並みの3兆8,610億円
- 営業利益は前年比▲8.3%減益の5,570億円
- 売上高営業利益率は▲1.3ポイント低下し14.4%
- 純利益は前年比▲11.8%減益の3,470億円

金額単位：億円	2023年度 ¥144.3/USD ¥156.0/EUR ¥94.7/AUD	2024年度 (見通し) ¥140.0/USD ¥149.0/EUR ¥90.0/AUD	前年比	
			増減	増減率
売上高	38,651	38,610	▲ 41	▲0.1%
営業利益	6,072	5,570	▲ 502	▲8.3%
売上高営業利益率	15.7%	14.4%	▲1.3ポイント	-
当社株主に帰属する当期純利益	3,934	3,470	▲ 464	▲11.8%
ROE	14.1%	11.7%	▲2.4ポイント	
1株当たり配当金（円）	167円	167円	±0円	
連結配当性向	40.1%	45.5%		

2024年度の各セグメント売上高と利益の見通し

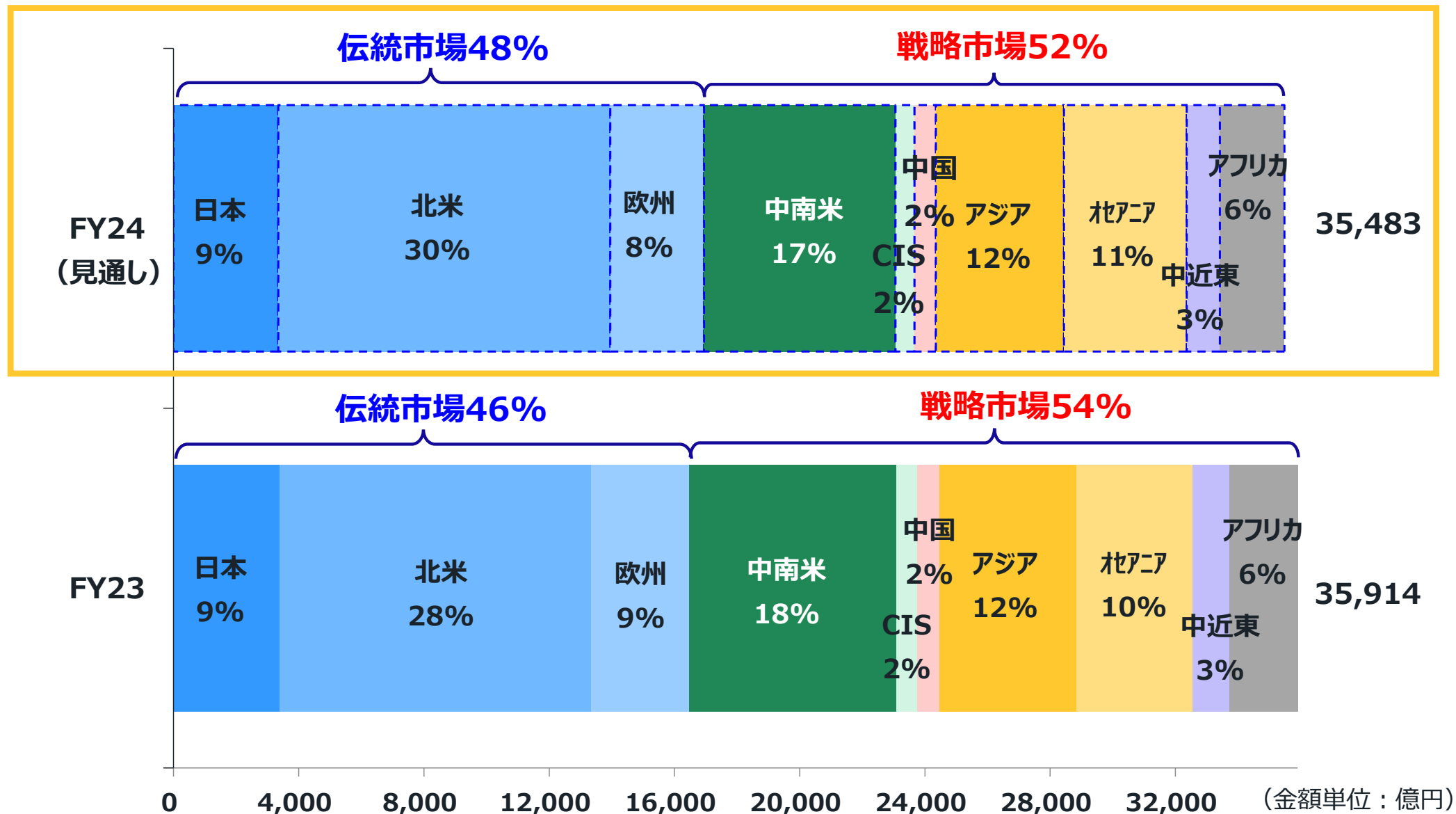
- 建設機械・車両部門の売上高は3兆5,530億円、セグメント利益は5,380億円
- リテールファイナンス部門の売上高は1,060億円、セグメント利益は220億円
- 産業機械他部門の売上高は2,290億円、セグメント利益は280億円

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2023年度		2024年度 (見通し)		前年比			
					増減		増減率	
売上高	38,651		38,610		▲ 41		▲ 0.1%	
建設機械・車両	(35,914)	36,152	(35,483)	35,530	(▲431)	▲ 622	(▲1.2%)	▲ 1.7%
リテールファイナンス	(809)	1,035	(858)	1,060	(+49)	+25	(+6.0%)	+2.4%
産業機械他	(1,928)	1,956	(2,269)	2,290	(+341)	+334	(+17.6%)	+17.1%
消去	▲ 492		▲ 270		+222		-	
セグメント利益	□ 15.7%	6,057	□ 15.2%	5,850	□ ▲0.5ポイント	▲ 207	▲ 3.4%	
建設機械・車両	□ 15.9%	5,740	□ 15.1%	5,380	□ ▲0.8ポイント	▲ 360	▲ 6.3%	
リテールファイナンス	□ 23.4%	242	□ 20.8%	220	□ ▲2.6ポイント	▲ 22	▲ 9.3%	
産業機械他	□ 5.3%	103	□ 12.2%	280	□ +6.9ポイント	+177	+172.4%	
消去または全社	▲ 28		▲ 30		▲ 2		-	

<建設機械・車両> 地域別売上高（外部顧客向け）

- 外部顧客向け売上高は、前年比▲1.2%減収の3兆5,483億円の見通し
- 北米、オセアニアで増加、中南米、アジアなどで減少

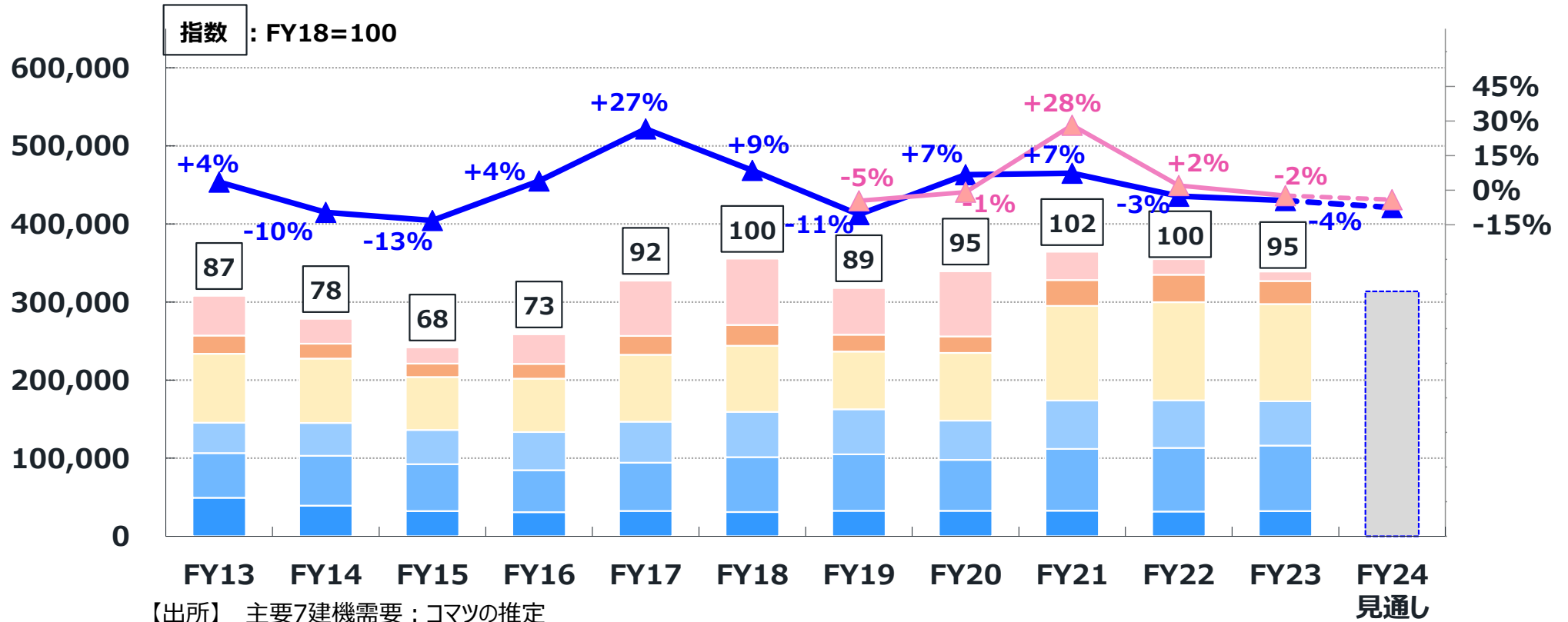


<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- 2024年度の需要は、前年比▲5%～▲10%の見通し

(台数)

(伸率)



主要7建機



ブルドーザー



油圧ショベル
(クローラー式)



油圧ショベル
(タイヤ式)



ホイールローダー



ダンプトラック



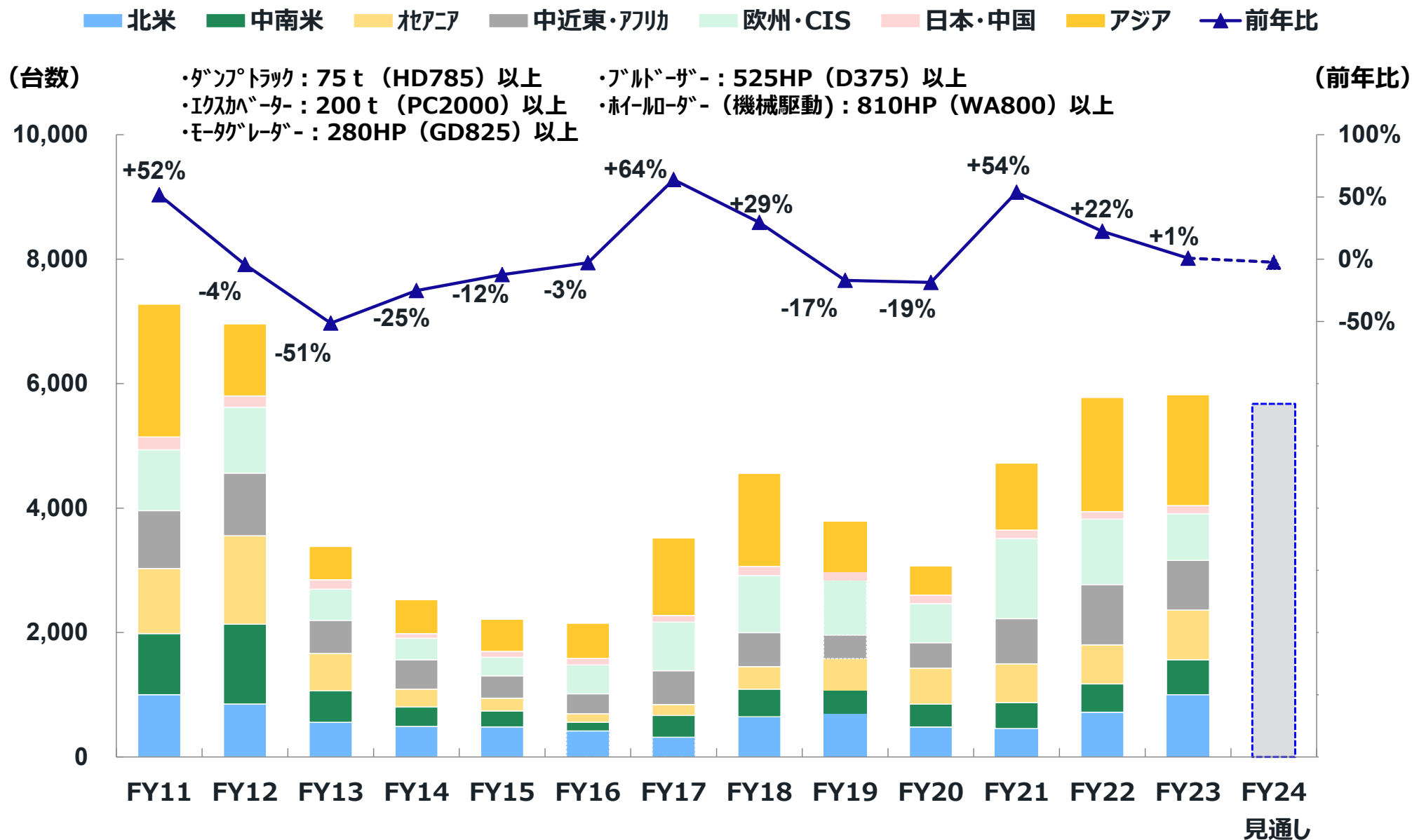
アーティキュレート
ダンプトラック



モーターグレーダー

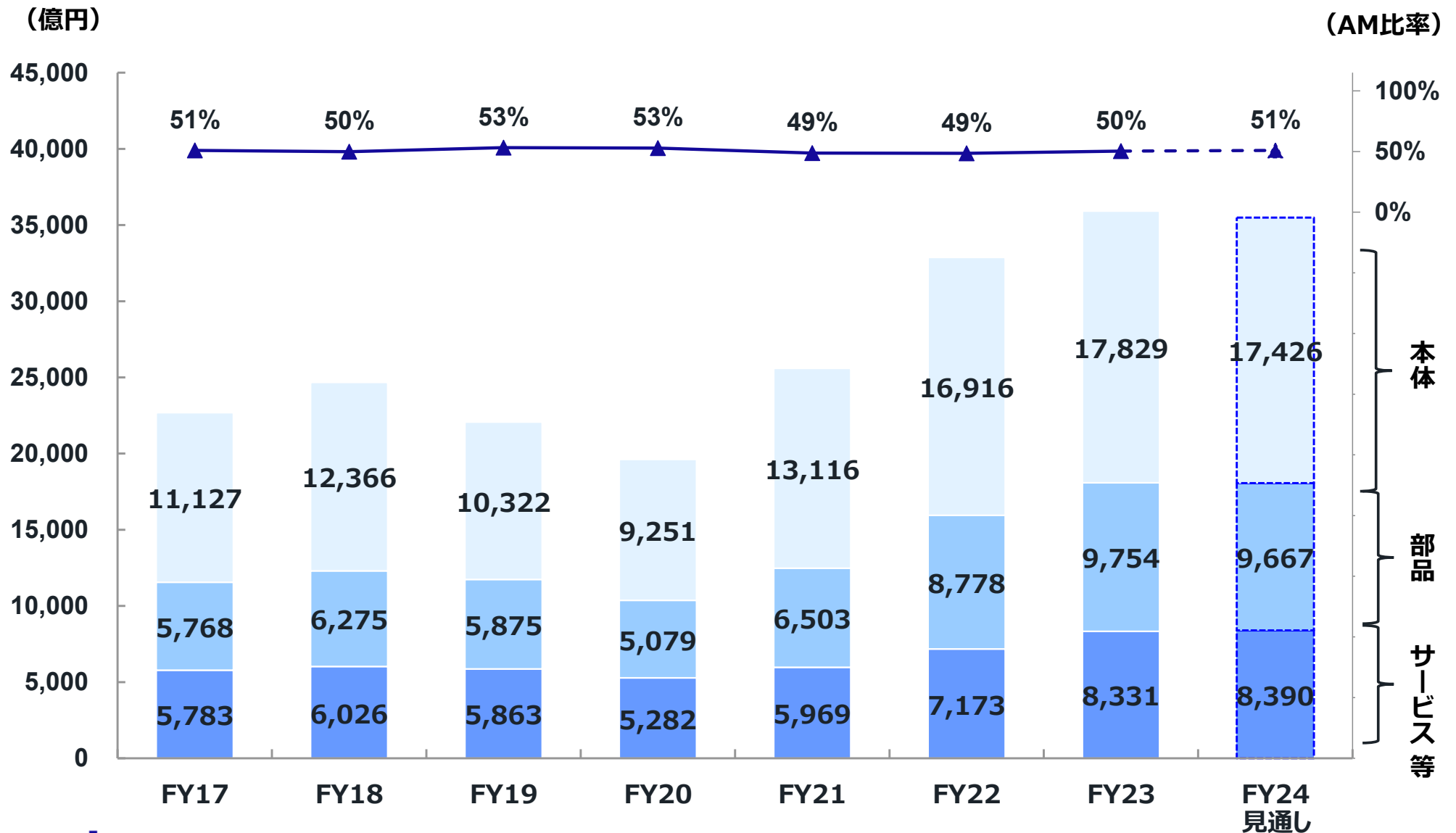
<建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と見通し

・ 2024年度の需要は、前年比±0%~▲5%の見通し



<建設機械・車両> 本体・部品・サービス等の売上高（外部顧客向け）の見通し

- 2024年度は、部品売上高が前年比▲1%減収の9,667億円、サービス等をあわせたアフターマーケット比率は51%の見通し



配当方針

- 持続的な企業価値の増大を目指し、健全な財務体質の構築と競争力強化に努める
- 連結業績に加え、将来の投資計画やキャッシュ・フローなどを総合的に勘案し、引き続き安定的な配当の継続に努めていく方針
- 具体的には、**連結配当性向を40%以上とする方針**

<連結配当性向推移>

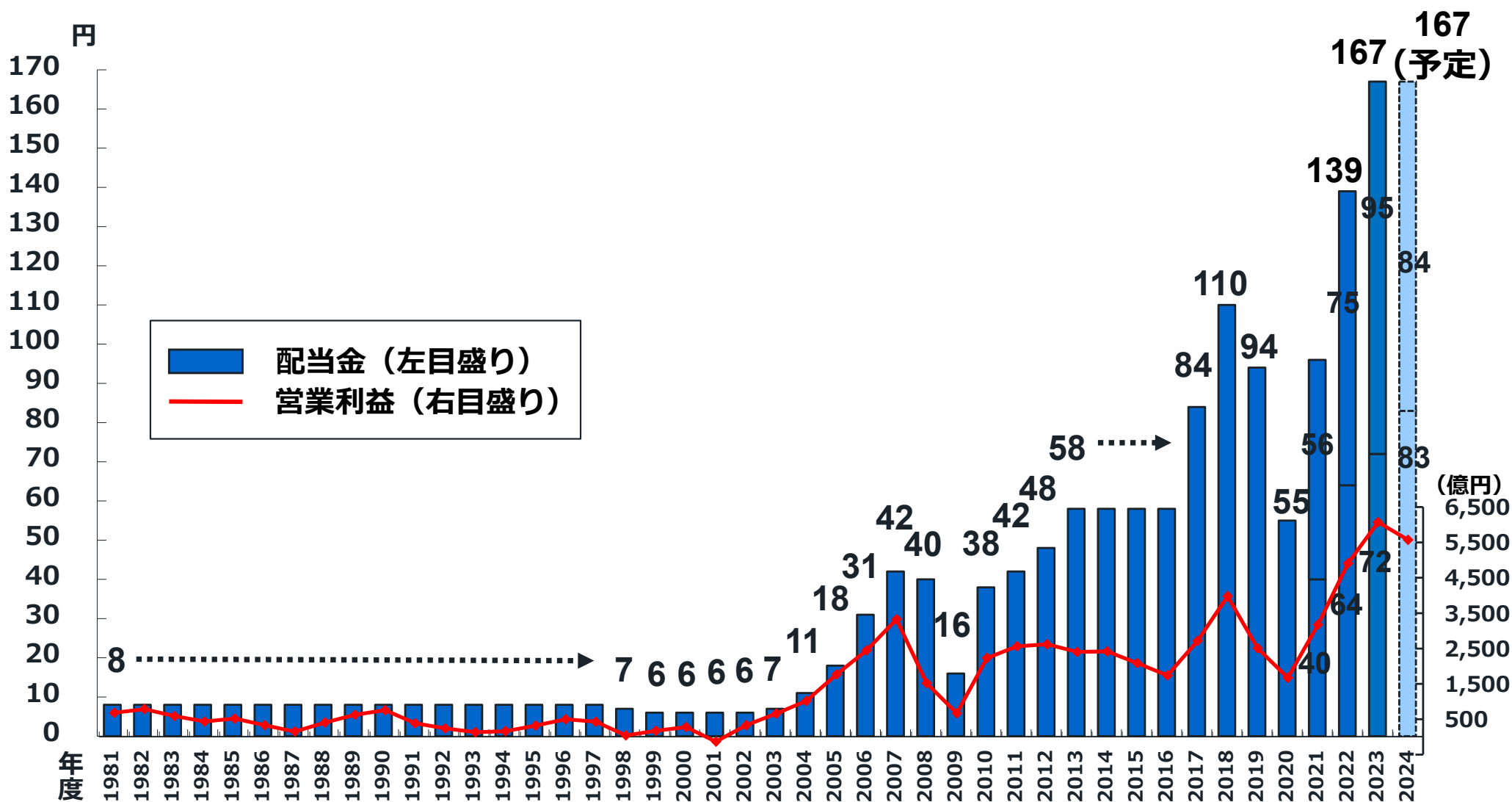
項目/年度	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15
配当方針	20%以上		20%~40%				30%~50%			
連結配当性向 総還元性向	19%	20%	40% 88% *	38% *	24%	24% 42%	36%	35%	36% 55%	40%

* 2008年度、2009年度は構造改革費用を除いたベース

項目/年度	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24予想
配当方針	40%~60%			40%~					
連結配当性向 総還元性向	48%	40%	41%	58%	49% ※	40.3%	40.3%	40.1%	45.5%

※2020年度の1株当たり配当金には、当社創立100周年の記念配当10円を含む。

配当金の推移



2020年度は記念配当金10円を含む

自己株式取得について

2008年度、2011年度、2014年度にそれぞれ約300億円を実施

2024年度は1,000億円（上限）を実施予定



- 2008年よりNPO「日本地雷処理を支援する会（JMAS）」と提携し、地雷処理から復興までのコミュニティ開発を目的とした支援活動に取り組む

地雷原



機械で素早く
安全に除去

コミュニティの復興



ブルドーザーベース
<地雷処理用>



油圧ショベルベース
<不発弾処理用>

地雷除去活動



インフラ・農地整備



学校建設



質疑応答

＜参考情報リンク先＞

株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

中期経営計画

https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428_4

コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2023>

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

コマツ サステナビリティ推進本部コーポレートコミュニケーション部 TEL: 03-6849-9703 <https://www.komatsu.jp/ja>

参考資料

長期保有株主さまへの感謝品

- ・当社株式を長期保有いただいている株主さまに感謝品を進呈。
(2014年7月より制度スタート)



※ 画像はイメージです

- コマツ製品のオリジナルミニチュア(非売品)を対象の株主さまに進呈。
- 多数のビットが付いたローラーを回転させ、埋没している対人地雷を破砕処理する対人地雷除去機をミニチュアにしました。

2024年度進呈
D85MS-15 対人地雷除去機

対象となる株主さま

基準日(毎年3月31日)現在、当社株式の保有期間が**3年以上(*)**保有し、
かつ**3単元(300株)**以上を保有の株主さま。

*毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて7回以上連続して当社株式を保有していたと記載されている方。

施設見学会の積極開催



個人投資家向け説明会 ＜オンライン開催＞

コマツの歴史～創業者の精神～

創業者 竹内 明太郎 (高知県宿毛市出身) の志

工業富國基
工業は国を富ませる基なり
人材育成こそが工業富國基の基本

▶ 鉱山機械開発のため小松鉄工所を設立 (1917年)
▶ 1921年5月13日 株式会社小松製作所の誕生

創業の精神は、遺伝子として受け継がれる
～世界に通用する技術を生み出し、世界を相手に勝負する～

創業者 竹内 明太郎

◆品質第一 ◆技術革新
◆海外への雄飛 ◆人材育成

社長のインタビューをウェブサイトに掲示



中間報告書 直近の事業状況や イベントをご紹介 (郵送)

Information

見学会のご案内

2023年 11月30日(水) 午前10時～
12月28日(木) 午後5時

2023年 11月30日(水) 午後1時30分～
12月27日(木) 午後1時30分～

2023年 3月12日(水) 午前11時～
3月14日(木) 午後1時00分～
3月15日(金) 午後1時00分～

見学会	開催日	開催時間	定員	参加費	抽選	対象者
1	2023年 3月26日(火)	午後1時30分～	60名	140名	抽選	個人投資家、機関投資家、アナリスト、関係者
2	2023年 3月27日(水)	午後1時30分～	60名	140名	抽選	個人投資家、機関投資家、アナリスト、関係者
3	2023年 3月28日(木)	午後1時30分～	60名	45名	抽選	個人投資家、機関投資家、アナリスト、関係者
4	2023年 3月29日(金)	午後1時30分～	60名	45名	抽選	個人投資家、機関投資家、アナリスト、関係者
5	2023年 3月12日(水)	午前11時～	60名	40名	抽選	個人投資家、機関投資家、アナリスト、関係者
6	2023年 3月14日(木)	午後1時00分～	60名	40名	抽選	個人投資家、機関投資家、アナリスト、関係者
7	2023年 3月15日(金)	午後1時00分～	60名	40名	抽選	個人投資家、機関投資家、アナリスト、関係者

オンライン
株主説明会
のご案内は
お届きください。

株主の皆さまへ
中間報告書 第155期
2023年4月1日～2023年9月30日

【写真】ミニショベル向け蓄電機付充電器イメージ(上) /
新型電動ミニショベル(PC30E-6J)(下)

証券コード: 6301